

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

道徳授業地区公開講座

平成27年9月12日(土)

内 容 1年 自主自立、誠実・責任
 2年 強い正義感
 3年 礼儀の意義

授業者

クラス	授業者	クラス	授業者	クラス	授業者
1年A組	田村 真治	2年A組	水田 剛	3年A組	平山 恵子
1年B組	佐野 貴之	2年B組	小嶋 紗代子	3年B組	片桐 雄樹
1年C組	多久 優麗花	2年C組	小西 宏子	3年C組	栗山 幸大
1年D組	坂本 佳苗	2年D組	角田 孝介	3年D組	遠藤 晴久

時 程 8 : 4 5 ~ 9 : 3 5 第1校時 道徳授業(地区公開)
 9 : 3 5 ~ 9 : 4 5 終学活・生徒下校
 9 : 4 5 ~ 1 0 : 3 0 保護者会(学級懇談会)
 1 0 : 3 5 ~ 1 1 : 1 5 地区公開講座

平成27年9月12日

道徳の授業を参観される皆様へ（1年生）

資料名「ネット将棋」

～誠実に実行し、その結果に責任をもとうとする道徳的な判断ができるようにする。～

資料の内容は

誠実な態度でネット将棋を楽しみ、実力を伸ばす敏和とは対照的に、主人公の僕はネット将棋を楽しめず、対局中でもいきなりログアウトしていました。主人公の誠実でない態度から、礼儀や責任のある行動について考えを深めると同時に、ネット利用などの情報モラルについても考えていきます。

授業の内容は

資料を読み、主人公の行動の問題点について考え誠実な態度や責任のある行動について考えていきます。さらに、ネットでの人とのかわりの中で責任のある行動を示すためにはどんなことを大切にしなければいけないのか、班で話し合います。

自分で考え実行し責任をもつ

毎日毎日、いろいろなことを
自分はどのように判断して実行しているのか？
自分を見つめて考えてみよう。

こんな自分がいないだろうか？



誰かに任せてしまえばラクチンだ。
逃げることができるし、知らないふりができるから。
——でも
そんな自分はかっこいいだろうか？
そんな自分のままでよいだろうか？



私たちは日々様々な場面で考え、判断し、行動している。
中学生になると、
自分のことは自分で決めたいという気持ちも強まってくる。
自分は深く考えて判断しているだろうか。
周囲の思惑を気にして他人の行動に左右されていないか。
自分の行動が
自分や他人にどのような結果をもたらすかということを
きちんと考えているか。
どのような小さな行為でも、
自ら考えて、自分の意志で決定すれば、
それに対して責任をもつという自覚が芽生える。
その自覚が、誠実に、人間としての誇りをもって
生きることを支えてくれる。



③ 自分から考え実行し責任をもつ

道 徳 学 習 指 導 案

1 日時 平成27年9月12日(土) 第1校時

2 主題 自主自立、誠実・責任1-(3)

誠実に実行し、その結果に責任をもとうとする道徳的な判断にできるようにする。

3 資料名

(1)「私たちの道徳」文部科学省 ネット将棋

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

自ら考え判断して、誠実に実行して結果に責任をもつことは、社会生活の中で基盤となるものである。誠実であることの大切さを自覚させ、責任をもって行動できる態度について考えさせる。

(2) 生徒について

中学生の時期は、自主的に考え行動ができるようになるが、一方では自由の意味をはき違い、自分の行為が自分や他人にどのような結果をもたらすか深く考えられない場面もある。ネット将棋という相手が見えないものに対して、自主性自律性を無視し、一方的に試合を中断させてしまう主人公の人間的な不誠実な行動から、誠実な行動とはどのような行動か考えていく。

(3) 資料について

誠実な態度でネット将棋を楽しみ、実力を伸ばす敏和とは対照的に、主人公はネット将棋を楽しめず、気分や感情に支配されて不誠実に振る舞っている。そんな中、知子や明子と話している敏和の「自ら『負けました。』」「目には見えない相手とどう向き合うかで、自分が試されている気がして」という言葉を聞いて、三人が笑い合う中で主人公は一人笑えなかった。

(4) 道徳教育の取り組みとの関係について

5 生徒の様子

教師の問いかけに、一人ひとり考えることができる。知っていることや、思いついたことは積極的に発表することができ、小学校で学んだ考える姿勢がよく定着している。中学校に入り友人関係が広がったり、様々な経験をしたりすることで思考が深まる時期なので、話し合い活動などで他者の意見を聞き、考えを広げたり深めたりする力を身につけていきたい。

6 本時の指導の流れ

【ねらい】誠実に行動し、その結果に責任をもとうとする道徳的判断力を養う。			
	学習活動	発問と予想される生徒の反応 など	留意点
導入	1 「誠実」とは何か考える。	<p>○カードゲームなどで、自分が負けそうな状況になったとき、ゲームを中断したり終わらせた経験のある人。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の負けを認めたくなかったから。 ・悔しかったから。 	1 ゲームを投げ出した時の心境も聞く。
展開	2 資料を読む。		2 教員が範読する。
	3 主人公の行動の問題点について考える。	<p>○ネット将棋でいきなりログアウトした「僕」は、どんなことを考えていたのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が負けるからつまんない。 ・相手が誰か分からないからいいや。 ・これ以上やってもつまんない。 	3 主人公の自己中心的な言動に気付かせる。
	4 主人公の誠実でない行動について考える。	<p>○敏和のツッコミに明子と知子は笑ったが、僕が笑えなかったのはどんなことを考えているからだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勝ち負けばかり考えて、相手と向き合うことができなかったな。 ・自分の気分でネットを切らない。 	4 ワークシートに記入させ、発表させる。
	5 ネット上での人との関わり合いについて考える。	<p>○相手がみえないと、なぜログアウトしてしまうのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関わりがないから。 ・無視しても特に自分に影響しないから。 	5 班をつくり、話し合わせる。 ・画用紙に記入させ、班ごとに発表する。
終末	6 「私たちの道徳」のp 22～23を範読する。		6 教師が範読する。
	7 「誠実に生きる」ために大切にすることを考える	<p>○「誠実に生きる」とはどんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを考えて真っ直ぐに生きること。 ・自分中心で考えるのではなく、相手の気持ちを考えて行動すること。 	7 ワークシートに記入させる。

7 評価：誠実に行動することの大切さについて考えを深めることができたか。

見えない相手でも、自分の行動に責任をもつ意識が高まったか。

関心をもって取り組むことができたか。

平成27年9月12日

道徳の授業を参観される皆様へ（2年生）

資料名「路上に散った正義感」.

～勇気ある行動に共感し、不正を憎み、断固許さない社会を実現しようとする道徳的態度を育成する。～

資料の内容は

深夜の路上で男から財布を奪って逃げ去った犯人を目撃した大学生たちが、その犯人を追ひ、もみ合いのすえ一人が死亡、一人が重傷を負うという実際の事件を扱った資料です。命をかけてまで貰いた若者の強い正義感に共感させながらねらいに迫っていきます。

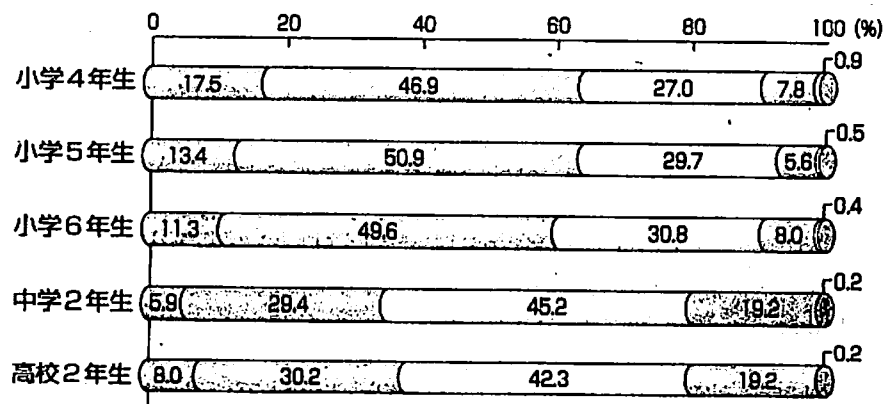
授業の内容は

資料を読み、これから自分たちはどうあるべきかどんな社会をつくらなければならないのかを考えさせていく。また正義感にかかわる実態調査のグラフなどを見せながら、正義を実現するために自分ができることを考えさせる。

正義感

「友達が悪いことをしていたら、やめさせること」

■あなたはどのくらいしていますか。



☐必ずしている ☐だいたいしている ☐あまりしていない ☐していない ☐不明

国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査」(平成22年度)

道 徳 学 習 指 導 案

1 日時 平成27年9月12日(土) 第1校時

2 主題 強い正義感 4-(3)

勇気ある行動に共感し、不正を憎み、断固許さない社会を実現しようとする。

3 資料名

(1) 副読本「自分を考える」 あかつき p68～p71

(2) 私たちの道徳 中学校 文部科学省 (3)正義を重んじ公正・公平な社会を p162

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

勇気ある行動に共感し、不正を憎み、断固許さない社会を実現しようとする道徳的態度を育成する。

(2) 生徒について

生徒はすでに何事においても正しく善悪の判断がつけられる年齢に達している。大人社会のなれ合いや建て前を嫌い、矛盾した世の中への嫌悪感を抱き、ある意味では強い正義感に満ちた年ごろであるともいえる。しかし、悪を憎み、正義を愛する気持ちは頭の中では育っていても、必ずしも態度として表出されるだけではなく、その正義感自分の都合に合わせて現れたり消えたりする場合がある。生徒には、不正を憎む心を育むばかりでなく、自らが正しいと信じたことを勇気をもって確実に実行する力を身に付けさせたい。

(3) 資料について

深夜の路上で男から財布を奪って逃げ去った犯人を目撃した大学生たちが、その犯人を追い、もみ合いのすえ一人が死亡、一人が重傷を負うという実際の事件を扱った資料である。不正な行為を断固許さず、命をかけてまで貫いた若者の強い正義感に共感させながらねらいに迫る。結果的には若者の一人が命を落とした痛ましい事件であるため、取り扱いには配慮が必要である。しかし、自分や限られた身内の安危だけを気にかける利己的な風潮の世の中で、生命尊重の視点から、この大学生たちの行為をもとに葛藤させたい。

(4) 道徳教育の取り組みとの関係について

1年生のときから、委員会活動などでチャイム着席の呼びかけ、給食時の着席の呼びかけなど専門委員会を中心にしてよく行えている。当番の仕事もみなで呼びかけながら、率先して行えている。また1年生の1学期に行ったSB(スクールバディ)という活動でいじめを許さない意識、行動も高まっている。正義を愛し、実行する大切さは日々養われている。

5 本時の指導の流れ

【ねらい】 勇気ある行動に共感し、不正を憎み、断固許さない社会を実現しようとする道徳的態度を育成する。			
	学習活動	発問と予想される生徒の反応 など	留意点
導入	1、資料を読む。	<div>この事件についてどんな感想をもったか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・亡くなったのは残念だけど勇気ある行動だと思う。 ・他にも力を貸してくれる人がいたら、こうはならなかったのではないかな。 	資料を教員が範読する。さまざまな意見が出るが、尊重し、受容する。
展開	2、学生たちの気持ちを考える。	<div>○犯人が凶器をもっているかもしれないのに、学生たちはどんな思いで駆けつけたのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・被害者を助けたい気持ち。 ・犯人を許せない。つかまえないといけない気持ち ・ほうってはおけないという気持ち 	学生たちの正義感と勇気に共感させる。
	3、投書に出てくる人物を学生たちと比較する。	<div>○女子高校生が電車の中でいやがらせにあったとき、まわりにいた人たちはなぜ助けなかったのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・かかわりたくないから ・自分も被害にあうと困るから ・自分には関係ないから 	学生たちと比較し、電車の中の人々の冷たさ、無関心など、第三者的な態度を浮き彫りにする。
	4、女子高校生の思いを考える。	<div>◎女子高校生の『若い正義感、路上に散る』の一言で終わらせたくない』という言葉には、どんな思いがこもっているのだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の死を無駄にしたいという思い ・だれもが勇気をもって正しいと思うことを行動に移す社会を築きたいという思い ・不正を許さない社会をつくらなければならないという思い 	若者の死を無駄にしないために、これから自分たちはどうあるべきか、どんな社会をつくらなければならないのかを考えさせたい。
終末	5、私たちの道徳を読む。	<div>○悪いことをやめさせることがなかなかできないのはなぜだろう。</div>	本時のまとめとして「私たちの道徳」の空欄に考えを書き込ませる。

6 評価

- ・正しいと信じたことを勇気をもって実行することの大切さを理解した発言や記述がある。
- ・授業の中で、悪を憎み不正を許さない社会を実現しようとする積極的な態度が見られる。

平成27年9月12日

道徳の授業を参観される皆様へ（3年生）

資料名「おはようございます」.

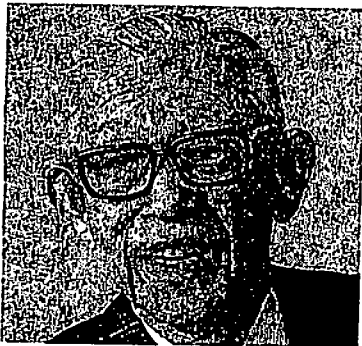
～礼儀の意義を理解し、人間尊重の精神をもって時と場にふさわしい言動がとれる道徳的判断力を高める。～

資料の内容は

早朝の学校で女子生徒に「おはようございます」と声をかけられた外山滋比呂さんは、唐突のことで女子生徒に頭を下げただけであいさつを返せませんでした。礼儀を欠いた行いをしてしまったことを後悔し、自らの行動を恥じる外山さんの姿から、時と場に応じた礼儀正しい言動について考えていきます。

授業の内容は

資料を読み、あいさつのもつ力について考えさせる。また中学卒業後の社会生活も見据え、礼儀正しいことが社会の中でどれだけ意味があることなのか、形式的ではなく心のこもった礼儀作法の大切さについて考えさせていく。



礼儀作法は
堅苦しいものではなく
単なる形式でもない、
社会生活の潤滑油です。

松下幸之助

◎和歌山県出身。実業家。15歳で働き始め、安全に電球の着脱ができるソケットを考案し、大正7（1918）年、その製造販売の会社を3人で大阪に設立する。◎数多くの電気製品を世に出す一方、昭和21（1946）年、物心両面の繁栄によって、平和と幸福を、という理想を掲げた研究所を設立した。



ニューヨークにおける松下さん（中央）

松下幸之助（まっしたこうのすけ）1894～1989

道 徳 学 習 指 導 案

1 日時 平成27年9月12日(土) 第1校時

2 主題 礼儀の意義 2-(1)

礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。

3 資料名

(1) 副読本「自分を考える」あかつき p54~p57

(2) 私たちの道徳 中学校 文部科学省 (3) 人間の強さや気高さを信じ生きる p48~p53

4 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

礼儀の意義を理解し、人間尊重の精神をもって時と場にふさわしい言動がとれる道徳的判断力を高める。

(2) 生徒について

登校時や下校時、廊下で会ったときなどあいさつを自発的にしてくれる生徒が多い。

また、校外学習などで外部の方と会った際も、気持ちのよいあいさつができる。

しかし、その一方で、あいさつをされても返せない生徒、クラスでのあいさつでお辞儀だけで終わってしまう生徒の姿も見られる。

礼儀は、その人の人間性を表す鏡であると言われる。礼儀正しいことが、これから生徒たちが羽ばたいていく社会でどれだけ意味があることなのか、まだ実感のない者が多いように思われる。

「わたしたちの道徳 中学校」で松下幸之助さんの言葉が紹介されているが、あいさつや礼儀作法は人間関係を円滑にする潤滑油である。中学卒業後の社会生活も見据え、形式的ではなく、心のこもった礼儀作法が身につけられるよう指導していく。

(3) 資料について

外山滋比呂氏が母校でかけられた「おはようございます」という言葉に心を打たれ、したためたエッセイである。早朝の学校で女子生徒に「おはようございます」と声をかけられた外山さんは唐突のことで頭を下げただけであいさつを返さなかった。礼儀知らずな大人だと思われたのではないかと、あとで思い出すたびに身が縮む思いがする。そんな外山さんから、礼儀を欠いた行為をした自分を恥じる気持ちが伝わる。淡々と書かれたエッセイだが、そこからは「おはようございます」という言葉を通して、あいさつのもつ力のようなものが伝わってくる。

(4) 道徳教育の取り組みとの関係について

TPOに応じたあいさつが進んでできるよう、全校朝礼や生徒会役員の活動を通じて、普段の学校生活から呼びかけ、指導を継続している。また、生徒会役員とJRC部が年に数回、一般生徒の登校時に正門に立ち、あいさつ運動を行っているので、あいさつを交わすことによって気持ちのよい朝のスタートが切れることを生徒たちはよく理解している。また、3年生ということで進路に向けた面接練習を行っている。その中で、礼儀作法は形だけではなく心を伝えることが大切なので、普段の生活から時と場にふさわしい言動を意識するよう指導している。

5 本時の指導の流れ

【ねらい】 礼儀の意義を理解し、人間尊重の精神をもって時と場にふさわしい言動がとれる道徳的判断力を高める。			
	学習活動	発問と予想される生徒の反応 など	留意点
導入	<p>■普段の「あいさつ」について考える。</p> <p>近くの席で2～3人組になり、①②のあいさつを実演する。</p> <p>その後、代表生徒が前に出て実演する。</p>	<p>あいさつをされたときの対応を比べてみよう。</p> <p>①相手に顔を向けずに、会釈だけする。</p> <p>②相手の目を見て、元気よくあいさつを返す。</p> <p>2種類のあいさつを比べて、どんな感じがしましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会釈だけのあいさつだと、ちょっと寂しい。 ・相手の顔を見ないのは失礼だ。 ・あいさつを返されると自分のことを受け入れてくれている感じがする。 ・気持ちよくあいさつができる人は、さわやかな印象をまわりに与える気がする。 	<p>・体験を通して、あいさつから受ける印象を考えさせる。</p>
展開	<p>資料を読む。</p> <p>■筆者の心情を通して、あいさつのもつ力を考える。</p> <p>■筆者の心情を通して、礼儀の在り方を考える。</p> <p>4人班を編制する。</p> <p>■「あいさつの意義」について班で話し合い、その根底にある礼儀の精神を捉える。</p> <p>班で出た考えを紙に書き黒板掲示し、考えを共有する。</p>	<p>筆者は、女子生徒のあいさつがどうして「気持ちよかった」のだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段から礼儀正しい生徒に違いないと思ったから。 ・見知らぬ人にでもあいさつする態度に感心したから。 ・あいさつそのものが人を気持ちよくするものだから。 <p>どうして「頭を下げただけで、すれ違ってしまった」ことが「たいへん恥ずかしい」のだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子生徒の礼儀にきちんと応じていないから。 ・きちんとあいさつができない大人だと思われたかもしれないから。 ・あたりまえのようにあいさつした女子生徒に対して、きちんとあいさつできなかった自分が恥ずかしかったから。 <p>◎私たちは何のために「あいさつ」をするのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをすることで、互いに気持ちを通じ合わせることができるから。 ・礼儀として当然のことだから。 ・お互いの敬意を伝え合うため。 	<p>・資料を範読する。</p> <p>・女子生徒の礼儀正しさに対する筆者の関心に加えて、あいさつそのもののすがすがしさにも気づかせたい。</p> <p>・女子生徒のあいさつにきちんと応じられなかった自らの非礼を恥ずかしく思う気持ちをおさえる。</p> <p>・筆者が、自らを恥じていることを捉えさせたい。</p> <p>・筆者の経験を踏まえて考え、あいさつにこめられた相手への敬意に気づかせたい。</p>
終末	<p>「thinking3」と「私たちの道徳 中学校」を読む。</p>	<p>この時間に感じたこと、考えたことをまとめてみよう。</p>	<p>・礼儀について考えたことをワークシートにまとめさせる。</p>

6 評価

- ・あいさつのもつ意味を改めて考えてみようとする意欲的な発言や記述をすることができたか。
- ・自分自身を見つめ直し、反省をふまえて礼儀に対する態度を改めようとする姿勢が見られたか。

平成27年9月12日

道徳授業地区公開講座

世田谷区立駒沢中学校
加藤敏久

1 駒沢中学校の道徳教育の重点

- (1) 生命尊重の精神と人や自然への愛情を深める。
- (2) あいさつを励行し、規範意識を高める。
- (3) 体験活動を推進し、温かい人間関係を築く。

2 今日の道徳の授業について

- (1) 1年生 「ネット将棋」 誠実な生き方 ※ネットリテラシー
※いじめをノックアウト (NHK)
- (2) 2年生 「路上に散った正義感」 正義感
※道徳ドキュメント (NHK)
- (3) 3年生 「おはようございます」 礼儀

3 ココロ部 (NHK) より 「白球のライバル」 心の弱さの克服

今回、コジマくんは「高校野球のピッチャー」になります。エースの座をつかんだときにピンチにあいます。自分だったらどうするか、理由もいっしょに考えてみてください。

4 ナポレオンの村 第5話 (TBS) より 「家族のきずなを深める魔法」

3つの「ごめんなさい」とひとつの「ありがとう」 声に出して言いましょう 大人からね
--

5 特別な教科 道徳 (道徳科) について

- (1) 「読み物 (心情) 道徳」から「議論する道徳」へ
- (2) 指導方法の工夫
ア 現代的な課題と課題解決的な学習 イ 道徳的行為に関する体験的な学習
- (3) 今後の予定

世田谷区立駒沢中学校
道徳授業地区公開講座

H27. 9. 12

1年生 誠実 ネット将棋



2年生 正義感 路上に散った正義感



3年生 礼儀 おはようございます

